



祠堂法要直前の役員ミーティング（令和6年9月12日・順慶寺庫裏にて）

今月の一枚

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2024年(令和6年)

10月号

VOL.372

◆◆ 法要直前ミーティング ◆◆

順慶寺の三大法要（蓮師会、祠堂法要、報恩講）では、責役総代が中心となって、法要の進行を担っている。これらの法要のおよそ二週間前に、事前連絡会が開催されて、事前に法要の内容を打ちあわせをしているが、法要当日の開始二時間前にも、役割分担と内容を打ちあわせるミーティングがなされている。

◇ 悪をも恐れぬ人の行く末 ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、「一つでも道理をはずれたことを行ない偽りを語り

来世を無視する人
かれはどんな悪事も行なう」（第一七六偈）
という部分からの出典です。

昔から、「悪いことをしたら地獄に落ちるぞ」と言われて、全うな人生を生きることが教えました。善いことや悪いことをして、来世に影響があるかどうかは、現在生きている私たちには分からないことですが、来世を思い描くことは、今の自分に強い影響があることは疑いのないことです。

今月のところは、チンチャーという女性遍歴者について説かれた一節です。

釈尊が悟りをひらかれてから、多くの弟子が集まり、それぞれの弟子たちが広大な徳を弘めていったために、異教徒の心は日々乱れていきました。そのため、彼らは、チンチャーという天女のように美しい女性に釈尊をそそ



今月の釈尊の言葉

偽りを語り
来世を無視する人は
どんな悪事も行なう



『ダンマパダ』
176 偈より

若院のテーマカット NO.65



のかすように願いました。数々の男性を魅了してきたチンチャーでしたので、たやすいことと快諾しました。しかし、釈尊がなかなかチンチャーになびかないために、彼女は策をねり、釈尊と一夜をともしたと偽りを広めました。そして、お腹に木片を巻き、妊娠したように見せかけたので、人々は大騒ぎとなりました。

ときに、①帝釈天（サッカ）がその理由を知り、天の使いを鼠に化けさせて、チンチャーの帯紐をかじらせました。すると、木片が彼女のもとに落ち、足先にケガを負いました。

走って逃げられなくなったチンチャーを人々は忌み嫌い、無慈悲に石や棒で追い払いました。そのとき、大地が割れて、チンチャーは無間地獄に落ちていったと言われます。

◇後悔すべからざる道◇

昨今、未婚の方、離婚をされた方、パートナーと死別された方など、單身世帯が増えて、二〇五〇年には、四四%の世帯が單身世帯となるとされています。

そうした中、孤独死される方が年々増えており、身近なところでも孤独死された方の話をちらほら聞かれる状況です。日本では、医学の進歩は顕著で、平均寿命は伸びてきていますが、それだけ孤独な時間が増え、多くの方々に忍び寄る孤独死に憂う日々が予想されます。

①【帝釈天】

仏教の守護神である天部の一つ。天帝釈・天帝・天皇ともいう。バラモン教・ヒンドゥー教ゾロアスター教の武神(天帝)で見られるインドラと同一の神。妻は阿修羅の娘であるシャチャー。梵天と一對の像として表されることが多く、両者で「梵釈」ともいう。(Wikipeidaより)

②【諸行無常】

この世の現実存在(森羅万象)はすべて、すがたも本質も常に流動変化する

こうした状況が劇的に変化する兆候もない今、ともすれば自分にも忍び寄る、孤独や孤独死とどう向き合うのか、これは大きな問題です。

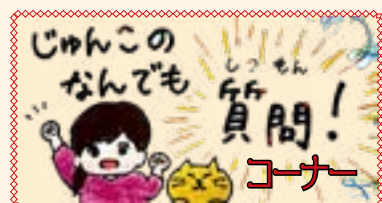
そこで、仏教では、この世の中は②諸行無常であると説かれます。すべては移り変わります。その中で、仏弟子は釈尊の見出された③涅槃寂靜の世界、つまり心静かに向かえる世界を探索しました。そして、煩惱多きこの世の中で、唯一来世に浄土で涅槃にいたるの念仏申すことであると、法然上人から道を与えられた親鸞聖人は、「たとい法然聖人にすかさされまいらせ、念仏して地獄に堕ちたりとも、さらに後悔すべからず候」(『歎異抄』)とおっしゃっています。

孤独を深める今こそ、来世を思い、念仏申し、後悔すべからざる世界を求めていくべきだと思えます。

ものであり、一瞬といえども存在は同一性を保持することができないことをいう。(Wikipeidaより)

③【涅槃寂靜】

煩惱の炎の吹き消された悟りの世界(涅槃)は、静やかな安らぎの境地(寂靜)であるということを目指す。涅槃寂靜は三法印(諸行無常、諸法無我、涅槃寂靜)・四法印(三法印に一切皆苦を加える)の一つとして、仏教が他の教えと根本的に異なることを示す。(同右)



今度の公開講座は一向一揆のお話だけ、昔は泉田には5軒もお寺があったの？



じゅんこちゃん、泉田の歴史も聞いたことがあるんですね。

今も、順慶寺のある泉田には、真宗寺院が三ヶ寺もあります。同じ町に同じ宗派ばかり三ヶ寺あるのは、珍しいですね。

じゅんこちゃんの言うように、一向一揆が起こったところに、泉田には五ヶ寺があったとされています。具体的には、現在の三ヶ寺(東から順慶寺、西念寺、淨信寺)に加えて、現在一里

山町にある密蔵院、西境町に移転して廃寺となった信歓寺です。密蔵院は、真宗寺院であったかは定かではないですが、信歓寺は真宗寺院だったと言われていますから、少なくとも四ヶ寺は真宗寺院でした。では、どうして泉田に五ヶ寺もあったのでしょうか。

それは、絵下城と言われる、お城が存在して、有力な士族が複数いたからだと思います。昔から、お寺は燃やしてはいけない建物とされていて、お城を護るために、街道筋にお寺を建てることを勧めたことがあります。これでお城を護ったんですね。

かつて、泉田には大きな船着き場があつて、ここから内陸に塩を運ぶための街道があつたといえます。ですから、五ヶ寺もお寺をたてて、お城をまもったんですね。

《第五十四回 米一粒に仏さま》

小さい頃、先代住職の老院に、「米粒一つ一つに仏様がいるんだよ」と教えてもらいました。それからだいぶたった今でも、ご飯粒を残してしまうと老院のこの言葉が脳裏をよぎな感覚がします。

お寺とともに

「酷暑を乗り越えて」

十月を前にやっと秋風を感じるようになりました。

本当に今年の夏は只事ではない暑さでした。お寺でも境内のあちこちで花が枯れて、木も葉が焼けて大変な有様でした。大切に育てたお花を、断腸の思いで切ったり抜いたりしました。

そして、報恩講の頃に必ずピンクのお花を咲かせてくれる皇帝ダリアも今年は全滅してしまいました。あまりのことに根本から切ってしまうことが出来ず、茎だけの哀れな姿にしておいたのですが、それがなんと、ここにきて脇から可愛い芽が出てきたのです！

「わあ！」と、つい声を出してしまいました。

こんなに頑張ってくれたのだから、お花は咲かせずとも青々を葉をしげらせてくれたら、と楽しみに見守っています。

この夏の長く苦しい暑さを経て、来年からは、「この夏の学びを振り返っています。」



例年にならない猛暑の中

祠堂法要・俱会二処式を勤める

さる、9月12日(木)、順慶寺で、例年通り祠堂法要・俱会二処式が開催されました。

今年は、9月に入っても連日35℃を超える猛暑の日が続き、法要当日も35℃を超える猛暑の中でお勤めをさせていただくことになりました。

予報でも、猛暑となることが報されていきましたので、午前7時ごろから本堂、書院、庫裏、お勝手の全てに普段より強めに空調を入れて、昼間の猛暑がしのげるように段取りをしました。



満堂の本堂で法話される伊奈祐諦氏(9月12日、本堂にて)

満堂の本堂

法要当日、猛暑ということもあってか、参詣者は例年より少なくなりましたが、それでも本堂に準備した百名ほどのイス席はほぼ満席となり、満堂となりました。

法要では、例年布教をお願いしている、西尾市の伊奈祐諦氏がユーモアあふれるお話をされ、皆さん有意義なご縁を結んでいかれました。

昨年からの、コロナによる自粛を経て書院にてお抹茶接待が再開され、今

年も本堂に参詣される前に、参詣の皆さんが、むつみ会とすみれ会役員のお手前を嗜んでいかれました。庫裏でも、お勝手会の皆さんのお齋が振る舞われました。

猛暑の俱会一処の納骨

午後の法要では、納骨堂に納められているお骨で、五十回忌になるお宅に参詣をしていただき、本堂でお勤めをした後、納骨堂の下に埋骨する儀式をしました。

予想通りの猛暑で、境内にある納骨堂はまさに蒸し風呂状態。その中で、遺族の皆さん、自らの手で納骨堂下に共同埋骨されました。

寄進 御仏供米二斗 塚本敬様

2024年度 順慶寺

公開講座

テーマ「一向一揆後の寺院について」

大河ドラマ「どうする家康」は、戦国時代から江戸時代を舞台に、徳川家康を新たな視点で描き出した作品でした。「三河一向一揆」も大きく取り上げられ、約半年に渡る一向一揆は和議に持ち込まれ一応収束を見せます。しかし、その後の真宗寺院の取り巻く状況は非常に厳しいものでありました。それはもちろん、かつて五ヶ寺あったとされる泉田の真宗寺院も例外ではありませんでした。

10月5日(土) 14:00~16:00

会場:順慶寺本堂 どなたでもお気軽にご参加下さい

【講師】 **安藤 弥氏**



経歴) 1975年生まれ。名古屋大学文学部史学科卒業、大谷大学大学院博士課程文学研究科仏教文化専攻満期退学博士(文学)。現在、同朋大学文学部教授、同朋大学仏教文化研究所所長、真宗大谷派岡崎教区第7組浄専寺住職。専門は真宗史。NHK大河ドラマ「どうする家康」では資料提供として関与。また、同番組にて僧侶役で出演。

お問い合わせ先

順慶寺

事務局 刈谷市泉田町池の浦3 順慶寺内
電話 0566-21-1934
メール support@junkyoji.com

9月度護国寺会物故者(敬称略)

智芳院釋尼心早

8月28日寂 池田早苗(98)

市場下組 池田清忠様の母

安静院釋尼妙錠

9月10日寂 加藤錠子(93)

刈谷市 加藤正樹様の母

菊誉院釋鏡達

9月11日寂 鈴置鏡市(100)

名古屋市 鈴置康則様の祖父

釋尼幸祐

9月23日寂 三浦幸子(84)

泉田町 三浦達明様の母

編集部短信

◆能登地震救援金を被災地に送金 8月26日、順慶寺本堂に設置してあった、能登半島地震の募金箱に集まった救援金を、岡崎教務所に納入した。皆さまの温かいお心添えにより、5万円弱の救援金を東本願寺救援本部を通して被災地の支援にまわすことができた。

◆境内側溝に金網を設置 9月中旬旬に、境内側溝のグレーチングに金網が設けられた。グレーチングは、スリットの間隔が広く、落ち葉が多く入り込み、側溝を詰まらせることがあったために、金網を敷設することになった。

◆泉田老人会追弔会開催 9月21日、泉田区老人クラブの物故者追弔会が順慶寺本堂で開催された。物故者遺族の参列は十五名。その他参列者は五十名ほど。読経中に焼香し、その後、住職から法話があった。

編集雑記

◆責役竹林の草刈を実施 9月23日、責役の相木国男氏所有の竹林の草刈を実施。今年は、例年になく猛暑で、いつもは相木氏が一人で草刈をされていたが、今年は、総代OBを中心とした十名が集まり、草刈の助力をさせていただいた。

元日の地震に続き、豪雨災害に遭われた能登半島の皆さんに対し、心からお見舞いを申し上げます。今回の豪雨は、地震以上に激しい災害だったとの話もあり、秋雨前線が例年以上に北の能登上空に停滞したことが一因。温暖化のために起こった現象だと思われ、化石エネルギーを消費し、快適な生活をする私たちの人災でもあるように思います。(住)

.....

巷では大谷選手の50-50が話題になりました。普段は野球をそこまで見ないのですが、大谷選手の活躍を見聞きすると元気をもらえますね。(若)



10月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	火	(有志)寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	
2	水		
3	木		木-1
4	金		
5	土	公開講座(14:00～、順慶寺本堂)	
6	日		
7	月	お楽しみ会(14:00～、順慶寺本堂)	
8	火		
9	水	むつみ会(14:00～、順慶寺本堂)	
10	木		木-2
11	金		
12	土	助音講(16:00～、順慶寺玄関)	
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		

17	木		木-3
18	金		
19	土	順慶寺こども会(9:00～、順慶寺本堂)	
20	日		
21	月		
22	火		
23	水		
24	木		木-4
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂) 臨時墓地管理委員会(10:00、順慶寺玄関)	
29	火		
30	水	報恩講事前連絡会(19:00、順慶寺玄関)	
31	木		
11/1	金	(有志)寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	

10月行事内容 詳細

当山公開講座

10月5日(土)

午後2時 順慶寺本堂

講師 同朋大学教授 安藤弥氏

講題 一向揆後の寺院について

本年の公開講座では、昨年の大河ドラマ「どうする家康」で、資料提供をされた、同朋大学の安藤弥先生をお迎えし、三河一向一揆によって大きな影響を受けた寺院などのお話をさせていただきます。

現在、宗派内では最も多忙な安藤先生にお越しいただく又とない機会です。参加費は無料。どなたでも聴講できます。皆さまお誘い合わせの上、ご参加ください。(前項のパンフレット参照)

臨時墓地管理委員会

10月28日(月)

午前10時 順慶寺玄関

さる6月に順慶寺境内墓地にある惣骨塔の拡張工事を実施した際に、新たに個別区画を造成したところ、大きな話題となりました。

今回、惣骨塔個別区画など要件を網羅した、墓地管理規約に改訂するために、臨時墓地管理委員会を開催します

お知らせ

●能登地方に緊急支援のお願い
9月20日に始まった能登半島豪雨で被災された方に対し、心よりお見舞い申し上げます。

順慶寺では、元旦の能登半島地震に続いて被災された能登の皆さまに、緊急に支援金を送りたいと思います。10月の公開講座の当日まで、本堂に募金箱を設置します。ご協力お願いします。
●本山報恩講団参の募集について
本年の本山報恩講団参の募集が

始まりました。参加希望の方は以下の要項に従って申し込みください。

記

日程	11月21日(木)日帰りバス
行程	京都・岡崎別院参詣↓ 本山報恩講参詣
参加費	一万一千円
申込	申込書(本堂に設置)に必要事項を記入し、参加費を添えて順慶寺に申込
切	10月15日

じゅんこのときめき歳時記

カボチャ

みなさん、9月の終わりになって、ようやく涼しくなってきましたね。急激な気温の変化に体調は大丈夫でしょうか。

10月といえば、このころ日本でも、ハロウィンでしょうか。カボチャをくり抜いて、ジャック・オー・ランタンを作ります。これは、アイランドで、最も日が短くなる日が、一年の始まりになるという言い伝えから、司祭かがかり火を焚いて、生け贄を差し出したこと由来するそうです。

日本では、カボチャは、戦国時代にポルトガル船によって、カンボジ

アから輸入されたので、カボチャとか「南瓜」とか名づけられたそうです。とにかく皮が厚く保存が利くので、昔から家庭の庭には必ず植えてあったものだったようです。

南瓜煮

供えることを忘れたり

篠田三七子

